



TITLE:

## 腎動脈瘤を伴った腎細胞癌の1例

AUTHOR(S):

矢澤, 浩治; 西村, 健作; 三浦, 秀信; 本多, 正人; 藤岡, 秀樹

---

CITATION:

矢澤, 浩治 ...[et al]. 腎動脈瘤を伴った腎細胞癌の1例. 泌尿器科紀要  
1997, 43(5): 343-345

ISSUE DATE:

1997-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/115960>

RIGHT:

## 腎動脈瘤を伴った腎細胞癌の1例

大阪警察病院泌尿器科 (部長: 藤岡秀樹)

矢澤 浩治, 西村 健作, 三浦 秀信

本多 正人, 藤岡 秀樹

RENAL CELL CARCINOMA ASSOCIATED WITH  
RENAL ARTERY ANEURYSM

Koji YAZAWA, Kensaku NISHIMURA, Hidenobu MIURA

Masahito HONDA and Hideki FUJIOKA

*From the Department of Urology, Osaka Police Hospital*

We report the 5th case of renal cell carcinoma associated with renal artery aneurysm in the Japanese literature. A 57-year-old woman was admitted to our hospital for further examination of a right renal mass. Computerized tomography and magnetic resonance imaging revealed a 6×5 cm tumor at the upper pole of the right kidney and an aneurysm of the right renal artery. An angiography showed duplicated renal arteries and a saccular aneurysm 2.1×2.5 cm occurring at the first bifurcation of one renal artery. A transperitoneal radical nephrectomy was performed.

(Acta Urol. Jpn. 43: 343-345, 1997)

**Key words:** Renal cell carcinoma, Renal artery aneurysm

## 緒 言

腎動脈瘤や腎細胞癌は、近年の画像診断の進歩につれて、その発見頻度は増加しており現在ではとくにめずらしい疾患ではない。しかし、同側腎に腎動脈瘤と腎細胞癌を同時に伴う症例はきわめて稀である。われわれはその1例を経験したので報告する。

## 症 例

患者: 57歳, 女性

主訴: 右腎腫瘍の精査

既往歴: 高血圧

家族歴: 特記すべきことなし

現病歴: 1994年6月頃より微熱が継続するため近医受診。腹部超音波検査にて右腎上極に腫瘍を指摘され、同年8月16日精査目的にて当科紹介受診となった。

入院時現症: 身長 150 cm, 体重 45.5 kg. 右側腹部に雑音を聴取せず

入院時検査所見: 一般検血にて異常を認めなかった。血沈 35 mm と亢進しており、血液生化学では BUN 25.3 mg/dl, GPT 42 mU/ml と軽度上昇を認めた。尿所見では異常なく、尿細胞診は class II であった。

X線所見: DIP では右腎上極に腫瘍の突出および上腎杯の下方への圧排を認めた。腹部造影 CT では右腎上極に約 6×5 cm 大の腫瘍を認め、腫瘍は不均

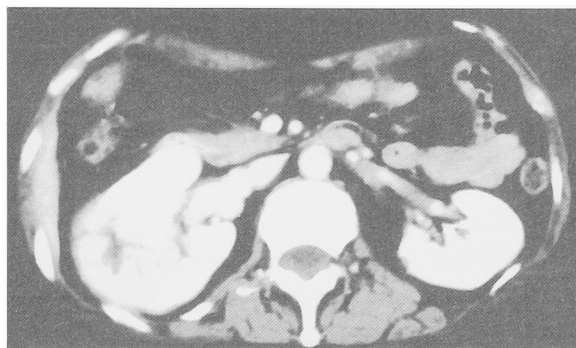


Fig. 1. Enhanced CT scan revealed a 6×5 cm tumor at the upper pole of the right kidney and dilation of a vessel at the right renal hilus.

一に enhance されていた。また右腎門部に血管の拡張を認めた (Fig. 1)。腹部 MRI では右腎に約 6 cm 大の腫瘍像とともに右腎門部に血管の拡張を認め腎動脈瘤が疑われた (Fig. 2)。腹部大動脈造影では2本存在する腎動脈の内、頭側から分岐する腎動脈の本幹分岐部に 2.1×2.5 cm 大の囊状動脈瘤を認めた (Fig. 3)。

以上より腎動脈瘤を伴った右腎腫瘍と診断し1994年9月9日経腹膜的根治的右腎摘除術施行した。

摘出標本: 右腎重量 400 g で、腎上極に腫瘍を認め、肉眼的には腎周囲脂肪層への浸潤は認めなかった。腎動脈瘤は2本存在する腎動脈のうち頭側から分岐する腎動脈より発生し、腎静脈の後方へ入り込んで



Fig. 2. T2-weighted MRI showed right renal tumor and the dilation of the vessel which was thought to be renal artery aneurysm.



Fig. 3. Aortography revealed two right renal arteries and right renal artery aneurysm.

いた (Fig. 4).

病理組織所見：動脈瘤の Elastica-Van-Gieson 染色では弾性線維の欠落が認められた。腎腫瘍は renal cell carcinoma, expansive type, alveolar type, clear cell subtype, G1>G2, INF $\alpha$ , pT2 であった (Fig. 5).

術後2年を経過した現在、再発、転移は認めていない。

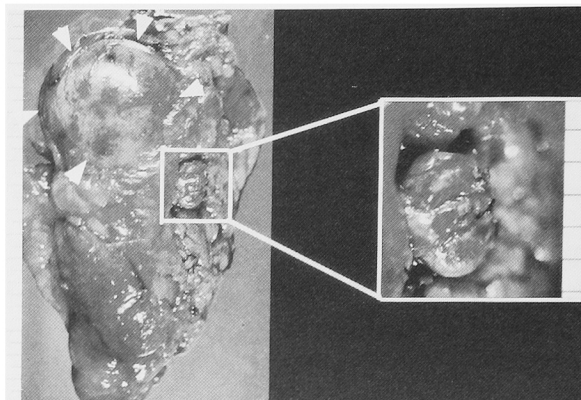
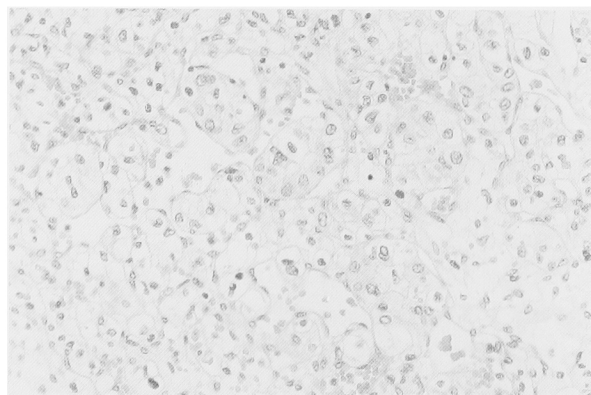


Fig. 4. Gross appearance of renal tumor (arrow) and saccular aneurysm.

## 考 察

腎動脈瘤は saccular, fusiform, dissecting, intrarenal の4 type が知られている。その発見頻度は血管造影施行例の0.7~1.0%と言われている<sup>1,2)</sup> 近年ではCT, カラードップラー等の画像診断技術の進歩により報告例も増加してきている。臨床症状としては血尿, 疼痛, 高血圧がいわれているが, ほとんどの場合は無症状である。腎動脈瘤の手術適応については一致した見解はないが, Ortenberg ら<sup>3)</sup> は非石灰化あるいは部分石灰化例で直径1.5 cm 以上のもの, 妊娠の可能性のある女性, 定期的な動脈造影で動脈瘤の増大したものとしている。手術術式については, 以前は腎摘除術が大部分を占めていたが, 近年では自家腎移植や腎動脈瘤切除術といった腎保存手術の報告が増加している<sup>4)</sup>

同側腎に腎細胞癌と腎動脈瘤を合併した症例は稀であり, 本邦では自験例も含めて5例<sup>5-8)</sup> 報告されているにすぎない (Table 1)。性別は女性4例, 男性1例。動脈瘤の type は4例が saccular type で, 1例は不明。治療に関しては, 5例中4例では動脈瘤を含めた腎摘除術が施行され, 1例は単腎であったため腎



A



B

Fig. 5. A: Microscopic findings of renal tumor (H.E. stain). B: The wall of aneurysm (Elastica-Van-Gieson stain).

Table 1. Reports of renal cell carcinoma with renal artery aneurysm.

	報告者	報告年	性別	年齢	部位	動脈瘤の型, 大きさ	治 療
1	大 城	1985	F	32	左	不 明	腎全摘
2	内 田	1987	F	56	右	嚢状, 径 4 cm	腎全摘
3	五 島	1987	M	70	左	嚢状, 1.9×1.5 cm	腎全摘
4	高見沢	1989	F	63	右 (単腎)	嚢状, 1.6×1.8 cm	腎部分切除術+動脈瘤切除術
5	自験例	1996	F	57	右	嚢状, 2.1×2.5 cm	腎全摘

部分切除術と動脈瘤切除術が施行された。近年では腎動脈瘤に対しては、動脈瘤切除術や自家腎移植がおもに行われており、腎腫瘍に対しても症例により腎部分切除術、腫瘍核出術といった腎保存手術がなされている。したがって、対側腎機能の低下している症例や単腎の症例においても充分腎保存手術は可能であると思われる。

## 結 語

われわれは腎動脈瘤を伴う腎細胞癌の1例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告した。本症例は本邦第5例目と思われた。

本論文の要旨は第156回日本泌尿器科学会関西地方会において報告した。

## 文 献

- 1) Hageman JH: Aneurysms of the renal artery: problems of prognosis and surgical management. *Surgery* **84**: 563-572, 1978

- 2) Tham G: Renal artery aneurysms. Natural history and prognosis. *Ann Surg* **197**: 348-352, 1983
- 3) Ortenberg J, Novick AC, Straffon RA, et al.: Surgical treatment of renal aneurysms. *Br J Urol* **55**: 341-346, 1983
- 4) 西村健作, 高羽夏樹, 瀬口利信, ほか: 対側萎縮腎を伴った腎動脈瘤の1例. *西日泌尿* **54**: 852-856, 1992
- 5) 大城 清, 長嶺由啓, 仲間 健: 腎動脈瘤に合併した微小腎癌の1例: *西日泌尿* **47**: 291, 1985
- 6) 内田欽也, 吉岡俊昭, 松田 稔, ほか: 腎細胞癌を合併した腎動静脈瘤の1例. *日泌尿会誌* **78**: 194-195, 1987
- 7) 五島明彦, 福岡 洋, 北村 創: 腎動脈瘤を合併した腎細胞癌の1例. *西日泌尿* **49**: 913-916, 1987
- 8) 高見沢昭彦, 平野順治, 石郷岡学, ほか: 腎動脈瘤を有する単腎に発生した腎細胞癌の1例. *日泌尿会誌* **80**: 274-278, 1989

(Received on December 11, 1996)

(Accepted on January 31, 1997)